



高知

観光情報は、こちら!

(公財) 高知県観光コンベンション協会
電話088-823-1434
URL : <http://www.attaka.or.jp/>

船舶代理店

入交海運
電話088-831-5151

高知 ポートガイド

Kochi Port Guide



桂浜・坂本龍馬銅像

高知県は北に四国山地、南に雄大な太平洋を望む大自然に囲まれた県です。

また、「南国土佐」と呼ばれるように、年間を通じて温暖な気候で、美しい環境に恵まれています。さらに、坂本龍馬をはじめとする歴史上の有名な人物を輩出してきた歴史と風土があります。

「いごっそう」や「はちきん」と呼ばれる自由で豪快な気風は、おらかな中にも芯の通った県民性を育み、「よさこい祭り」に代表される個性豊かな地域の文化を発展させてきました。

高知港は高知県の中央部に位置し、古くから京阪神と南四国を結ぶ海上交通の要衝として発展してきました。1998年3月には太平洋に面した国際貿易港として高知新港(通称)が開港しました。

高知新港から浦戸湾口をはさみ対岸には、「月の名所」として詠われる景勝地、「桂浜」があり、周辺には「桂浜水族館」などの施設があります。

高知市内には初代土佐藩主・山内

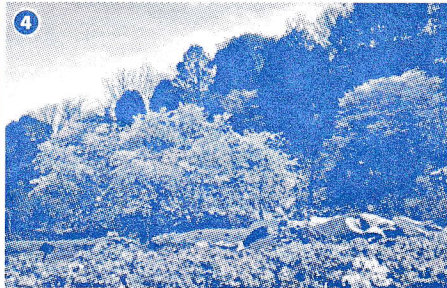
一豊が築いた高知城、「よさこい節」で歌われるはりまや橋や2013年にオープンした高知よさこい情報交流館など、有名な観光地があります。

高知城周辺には、飲食店や居酒屋・土産物店が集まった「ひろめ市場」があり、日曜日には300年以上続いている「日曜市」が開かれにぎやかな土佐弁が飛び交っています。

また高知新港から高知市中心部へ行く途中には、四国八十八ヶ所三十一番札所の「五台山竹林寺」や世界的植物学者、牧野富太郎博士ゆかりの植物など、約3千種が四季を彩る「高知県立牧野植物園」など多彩な見どころがあります。

足を延ばせば、東は室戸岬、西は四万十川など自然豊かな観光地が多く存在しています。

そして、黒潮に育まれたカツオをはじめ、ウツボ、クジラなど豊富な海の幸や、四万十川に代表される清流で育ったウナギ、手長エビ、鮎、さらに南国土佐の日差しを受けて育った新鮮な野菜や特産鶏「土佐ジロー」など、新鮮でおいしい食材があふれています。



① 高知城

関ヶ原の戦いの功績により徳川家康より土佐一国を拝領した山内一豊が1601年に築城工事を開始し、1603年に完成。一度大火によりほとんど消失しましたが、1753年までに創建当時の姿のまま再建されました。

現在では「南海道随一の名城」とも呼ばれる優美な姿をしており、高知城の天守は現在日本に残る12天守の1つに数えられ、その中でも天守閣と追手門が一枚の写真に収まります。高知城自体はそれほど大きい城ではありませんが、創建当時の遺構や本丸の建築群がまとまって残っており、城の魅力を感じるには十分です。

② ひろめ市場

高知ならではのラテン系ムード漂うオープンマーケット。鯉の塩タタキやクジラ料理、屋台餃子など土佐を代表する味からご当地グルメまで幅広く楽しめる。地元産

の魚介や青果を始め、海産物や地酒、芋けんぴ、ゆずポン酢など、高知の特産品も一堂に揃います。

③ 桂浜

雄大な太平洋に面し、月の名所としても知られる景勝地。周辺一帯は桂浜公園として整備され、桂浜水族館、土佐闘犬センターなど観光スポットも多い。竜頭岬の先で太平洋を眺めるように聳え立つ坂本龍馬銅像は要チェック。遊歩道に沿って園内を散策したり浜辺をのんびりするの楽しいです。高知新港より最も近い観光名所。

④ 高知県立牧野植物園・五台山竹林寺

高知県出身の植物学者・牧野富太郎博士ゆかりの植物をはじめ、南国の温室や50周年記念庭園など、約3000種類の草花が四季を彩る植物園。展示館では、牧

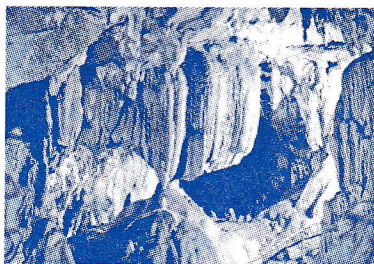
野博士の業績や魅力を紹介する常設展示のほか、子供も大人も楽しめる体験型展示コーナー、緑に囲まれたレストランやショップもある。また周辺には四国霊場八十八ヶ所の第三十一番札所、竹林寺があります。

竹林寺は八十八ヶ所で唯一、文殊菩薩を本尊とする学問の寺。平成22年に西境内が「めぐりのもり」としてリニューアルされ、参拝者の憩いの場所になっています。国重要文化財指定の仏像17体を奉安する宝物館と名勝庭園も見どころ。本尊・文殊菩薩は日本三文殊に数えられ、受験シーズンは特に賑わいます。

⑤ 西島園芸団地

南国市にあるフルーツランド。プーゲンビリアなど色とりどりの熱帯花木の茂る中でスイカやメロンなどが味わえ、1月から6月中旬にはイチゴ借りも楽しめます。園内で栽培されたフルーツトマトをたっぷり使ったトマトカレーやご当地アイスなども好評です。

足を延ばして



⑥ 龍河洞

日本三大鍾乳洞の1つ。約1億7500万年の歳月をかけて創られた全長約4kmの鍾乳洞で、国の天然記念物・史跡に指定されている。約1kmが公開されており、神秘的な景観を探検気分で見学できる。膝をつくほど狭い場所をヘッドライトのあかりだけで進む冒険コースもおすすめ。また珍鳥センターでは国の特別天然記念物の尾長鶏を見ることが出来る。



⑦ 仁淀川

2011年2012年に日本国内に流れる1級河川で水質ランキング1位となり「奇跡の清流」と呼ばれる仁淀川。豊かな森に育まれた水は、多彩な地形によりさらに透明度を増し、水中の神秘的なブルーを生み、多くの観光客の注目を集めている。仁淀川流域には「安居渓谷」「中津渓谷」などの渓谷美のほか、高知を代表する特産品の1つである「土佐和紙」の紙漉き体験など様々な観光名所が点在しています。

港までの所要時間

JR「高知駅」より ■ 車（タクシー）で約30分

「高知龍馬空港」より ■ 車（タクシー）で約20分

ターミナル所在地

岸壁所在地:高知市仁井田字新港 4704

高知

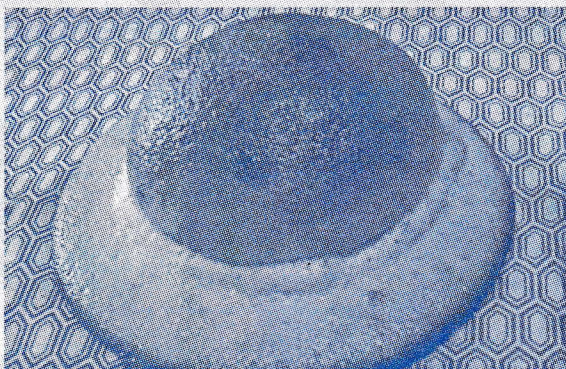
おすすめグルメガイド

海・山・川の豊かな自然が残る高知県は、じゃらん宿泊旅行調査「地元ならではの美味しい食べ物が多かった」部門で2011年度まで3年間連続1位に輝いた折り紙つきの「食」大国です。一度食べたら忘れられない高知の「食」をぜひ堪能ください。



鯉のたたき

高知を代表するグルメの一つ「鯉のたたき」。たっぷりのニンニクとネギをのせ、特製のたれで食べる。最近では「塩たたき」も好評です。また食べるだけでなく、鯉のたたきづくりを体験できる施設もあります。



帽子パン

昭和30年代に高知市のパン屋さんが売り出したパン「帽子パン」。帽子のトップの部分はふんわり、つばの部分はサクッとしたカステラ生地です。今では高知県内のパン屋さんで売られている「県民的なパン」に進化しています。



芋けんぴ

さつまいもを油で揚げ、砂糖蜜をからめただけのシンプルなお菓子「芋けんぴ」。ほどよい硬さと甘味の中に、芋の風味がしっかりと生きていて、食べあきないおいしさです。



土佐の地酒

坂本龍馬も大変酒好きだったと言われており、高知県の食文化を語るのに欠かせない存在である日本酒。現在高知県内には18の酒蔵があります。「淡麗辛口ですっきりとしたのどごし」をお楽しみください。